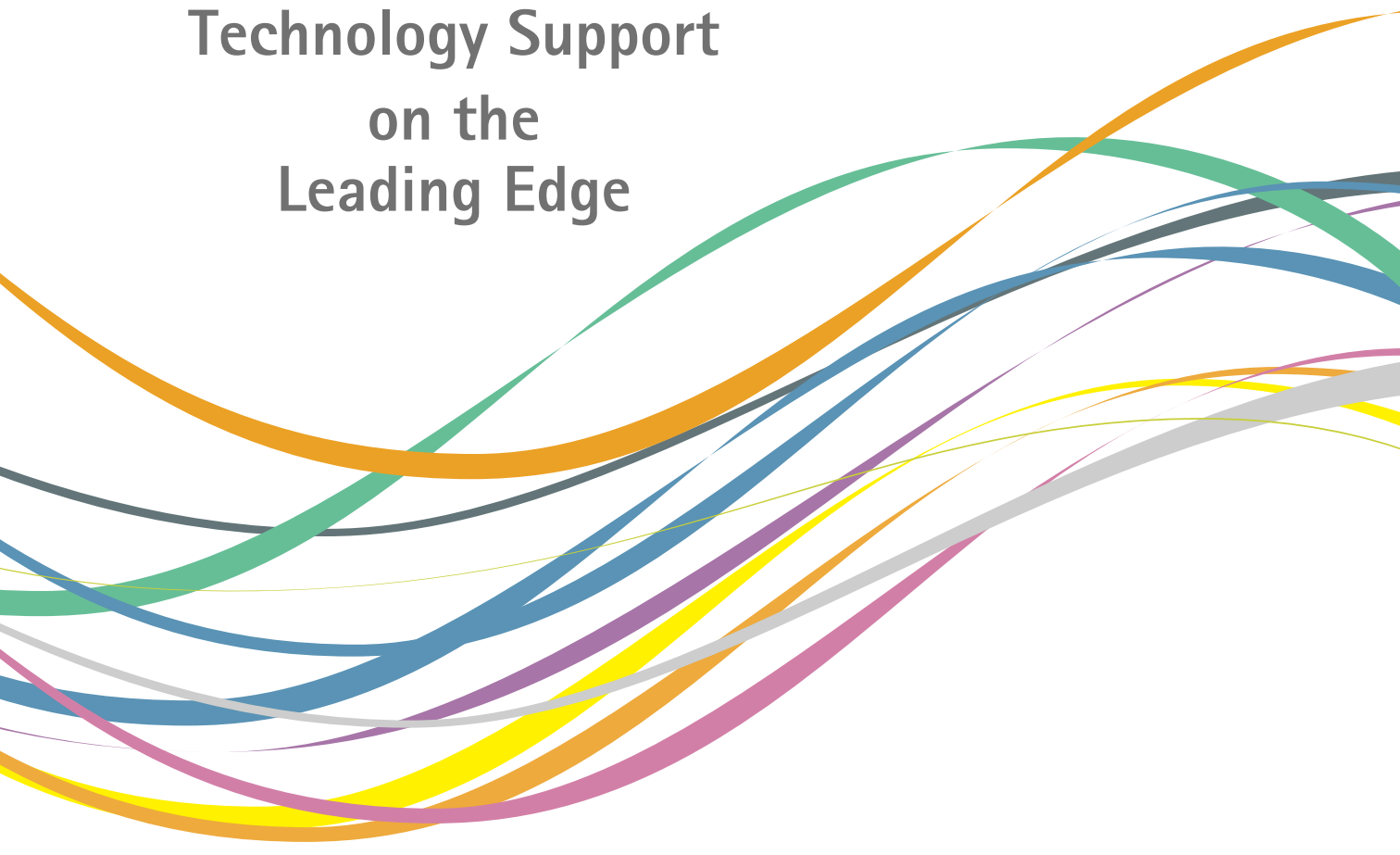


ADVANTEST®

第74期 中間報告書

(2015年4月1日▶2015年9月30日)

Technology Support on the Leading Edge

An abstract graphic consisting of several thick, wavy lines in various colors (orange, green, blue, purple, yellow, pink, grey) that flow from the left side of the page towards the right, creating a sense of movement and energy.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

アドバンテストグループの2015年度上半期（2015年4月1日から2015年9月30日まで）における事業の概況につきましてご報告申しあげます。

当上半期の半導体関連市場は、メモリ半導体向けを中心に、スマートフォンやデータセンターに使用される先端半導体関連の投資が堅調だった一方で、株価下落や貿易の低迷などマクロ経済の変調による不透明感の増大が中国をはじめとする各国市場の消費減退へと波及し、半導体メーカー各社で製造設備の新規発注を抑制する動きが広がりました。

このような環境のもと、半導体・部品テストシステムの販売促進に取り組むとともに、半導体試験装置周辺事業などの収益拡大に努めた結果、当上半期の受注高は711億円（前年同期比18.7%減）、売上高は867億円（同9.8%増）、営業利益は67億円（同5.6%増）となり、増収増益を確保しました。税引前当期純利益は63億円（同21.4%減）、当期純利益は44億円（同3.4%減）となりました。

今後の事業環境につきましては、非メモリ半導体用テストシステムでは、厳しい局面がしばらく続くものの、ハイエンドスマートフォン用の半導体増産が見込まれる年明けより需要が回復すると見込んでいます。メモリ半導体用テストシステムでは、DRAMやNAND型フラッシュメモリの生産拡大を大手半導体メーカーが計画していることから、通期にわたって堅調な引き合いが続くものと期待しています。

また、デバイス・インタフェースやナノテクノロジーなどのメカトロニクス関連事業およびサービス他事業については、収益拡大策の効果による業績伸長を見込んでいます。



なお、通期連結業績予想につきましては、非メモリ半導体用テストシステムの需要が夏場以降落ち込んでいること、採算性の良い製品の売上構成比率が下がる見通しであることを踏まえ、売上高1,600億円、営業利益100億円、当期純利益67億円へそれぞれ下方修正いたしました。

株主の皆様への中間配当金につきましては、1株につき10円とし、2015年12月1日を支払開始日とすることを、2015年10月26日開催の取締役会において決議いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2015年11月

代表取締役兼執行役員社長(CEO)

黒江 真一郎

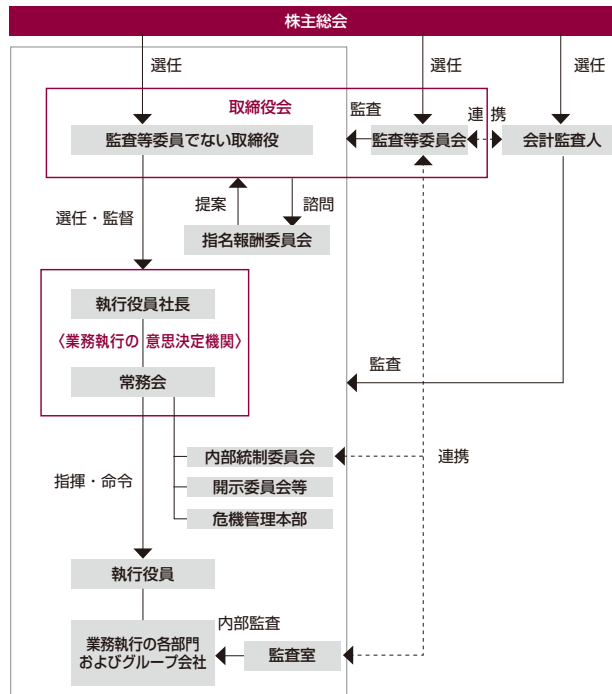
監査等委員会設置会社への移行

当社は、2015年6月24日に監査等委員会設置会社に移行しました。

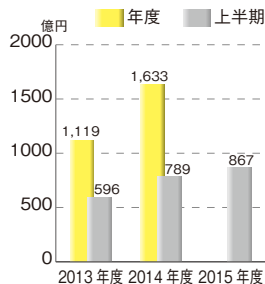
本年5月1日に施行された改正会社法により新たに導入された「監査等委員会設置会社」の諸制度の下で、コーポレート・ガバナンス体制と取締役会の監督機能をいっそう強化し、さらなる企業価値の向上を図っていきます。

監査等委員会は、監査等委員である社内取締役1名、監査等委員である社外取締役2名の計3名で構成されます。また、監査等委員会は適正かつ効率的に監査を行うため、必要に応じて監査室および会計監査人から情報入手し、意見交換する機会を持っています。

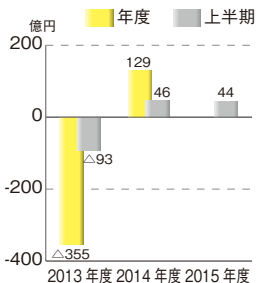
監査等委員は、監査等委員会が策定した監査方針・監査計画に基づき、取締役会およびその他の重要な会議への出席や、業務および財産の状況の調査を通して、取締役、執行役員、その他業務執行機関の職務遂行を監査します。



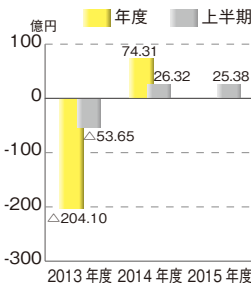
売上高(連結)



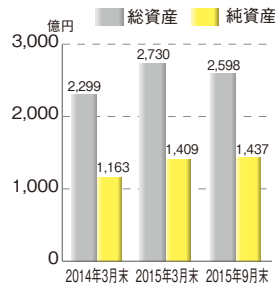
当期純利益(連結)



1株当たり当社株主に帰属する
当期純利益(連結)



総資産・純資産(連結)



メモリ・テスト・システム「T5833」を販売開始

「T5833」は、DRAMとNANDフラッシュ・メモリ双方の試験に対応したメモリ・テスト・システムです。

今後一層の普及が見込まれるモバイル製品には、高速で大容量化が進むDRAM、NANDフラッシュ、MCP (Multi Chip Package) が使われています。これらのデバイスに対して、「T5833」はウエハ試験とパッケージ試験の両方に対応した多機能型テスト・システムです。

また、ウエハ試験時最大2,048個、パッケージ試験時最大512個と多くのデバイスを同時にテストすることで、テスト・コストを低減します。加えて、複数のCPUを測定対象デバイスの試験工程に最適になるように組み合わせて制御する「フレキシブル・サイトCPU・アーキテクチャ」を採用し、テスト時間の短縮とスループット向上に大きく貢献します。

アドバンテストのメモリ・テスト・システムは、世界各地に既に8,000台以上設置され、メモリ・デバイス試験の市場をリードしています。「T5833」が、同市場における当社のプレゼンスをさらに高めるものと期待しています。



テスト・システム「V93000」累計4,000台目を出荷

2015年3月、発売から累計4,000台目となる「V93000」を、台湾の大手テストハウスに出荷いたしました。

「V93000」は、仕様変更の柔軟性や、機能性および高い精度によって、全世界のOSAT(後工程受託製造企業)に受け入れられています。また、高速デバイス、RF、ミクスドシグナルデバイス、パワーマネジメントICなど、多様なデバイスのテストを求める顧客に対し、最適なソリューションをご提案できます。



欧州のナノエレクトロニクス研究機関「imec」が 電子ビーム露光装置「F7000」を採用

当社の電子ビーム露光装置「F7000」が、ベルギーのナノエレクトロニクス研究機関のimecに採用されました。

「F7000」は、10ナノメートル台の解像性能を実現し、電子ビームによりウエハに微細なパターンを直接描画できる露光装置です。今回の採用により、欧州に初めて「F7000」が設置されることになります。

imecは、1984年に設立された世界有数のナノエレクトロニクス技術の研究機関であり、「F7000」は最先端半導体関連の研究開発に活用されます。

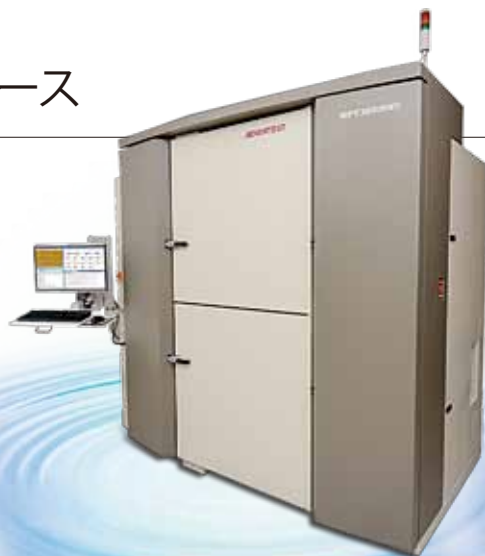


SSDテスト・システム「MPT3000」 SAS、SATA対応ファームウェアをリリース

「MPT3000」は、さまざまな品種のSSD(ソリッド・ステート・ドライブ)に対応したテスト・システムです。

今回リリースしたファームウェアは、SSDの高速プロトコルである12Gbps SAS (Serial Attached SCSI) や、6Gbps SATA (Serial Advanced Technology Attachment) に対応したものです。これにより「MPT3000」は、現在のSSDの主要なプロトコルであるSAS、SATA、PCI Expressに、ハードウェアの交換無くソフトウェアの設定変更のみで対応可能となりました。

「MPT3000」の業界トップクラスのフレキシビリティと拡張性を備えたテスト・プラットフォームにより、ダウンタイムや余剰設備を大幅に抑制し、顧客ごとに最適なテスト環境を構築できます。



連結財務諸表〔米国会計基準〕

記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 2014年度 (2015年3月末) | 2015年度上半期 (2015年9月末) |
|----------------|----------------------|-------------------------|
| 〔資産の部〕 | | |
| 流動資産 | 164,801 | 153,690 |
| 現金および現金同等物 | 97,574 | 86,506 |
| 売上債権(貸倒引当金控除後) | 24,960 | 24,219 |
| 棚卸資産 | 37,210 | 36,572 |
| その他の流動資産 | 5,057 | 6,393 |
| 投資有価証券 | 2,249 | 2,088 |
| 有形固定資産(純額) | 38,480 | 36,998 |
| 無形資産(純額) | 4,085 | 3,691 |
| のれん | 54,590 | 54,495 |
| その他の資産 | 8,836 | 8,808 |
| 資産合計 | 273,041 | 259,770 |

| 科 目 | 2014年度 (2015年3月末) | 2015年度上半期 (2015年9月末) |
|-------------|----------------------|-------------------------|
| 〔負債の部〕 | | |
| 流動負債 | 49,686 | 33,087 |
| 買掛金 | 18,101 | 13,123 |
| 未払費用 | 10,482 | 9,725 |
| 未払法人税等 | 2,106 | 2,214 |
| 製品保証引当金 | 1,525 | 1,627 |
| 1年以内償還予定の社債 | 10,000 | — |
| 前受金 | 4,900 | 3,459 |
| その他の流動負債 | 2,572 | 2,939 |
| 社転換社債 | 15,000 | 15,000 |
| 未払退職および年金費用 | 30,119 | 30,104 |
| その他の固定負債 | 35,034 | 35,982 |
| 負債合計 | 2,264 | 1,878 |
| 負債合計 | 132,103 | 116,051 |
| 契約債務および偶発債務 | | |
| 〔資本の部〕 | | |
| 資本 | 32,363 | 32,363 |
| 資本金 | 43,770 | 43,761 |
| 利益剰余金 | 141,104 | 143,730 |
| その他の包括利益累計額 | 18,387 | 18,450 |
| 自己株式 | △94,686 | △94,585 |
| 資本合計 | 140,938 | 143,719 |
| 負債および資本合計 | 273,041 | 259,770 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 2014年度上半期 | 2015年度上半期 |
|---------------|-----------|-----------|
| 売上高 | 78,943 | 86,665 |
| 売上原価 | 35,697 | 39,715 |
| 売上総利益 | 43,246 | 46,950 |
| 研究開発費 | 15,022 | 15,978 |
| 販売費および一般管理費 | 21,832 | 24,224 |
| 営業利益 | 6,392 | 6,748 |
| その他収益(△その他費用) | 1,625 | △443 |
| 税引前当期純利益 | 8,017 | 6,305 |
| 法人税等 | 3,432 | 1,874 |
| 当期純利益 | 4,585 | 4,431 |

セグメント別売上高

(単位：百万円)

| 科 目 | 2014年度上半期 | 2015年度上半期 |
|-----------------|-----------|-----------|
| 半導体・部品テストシステム事業 | 54,991 | 51,192 |
| メカトロニクス関連事業 | 11,100 | 20,258 |
| サービス他 | 12,918 | 15,239 |
| 内部取引消去 | △66 | △24 |
| 合計 | 78,943 | 86,665 |

連結キャッシュ・フロー計算書

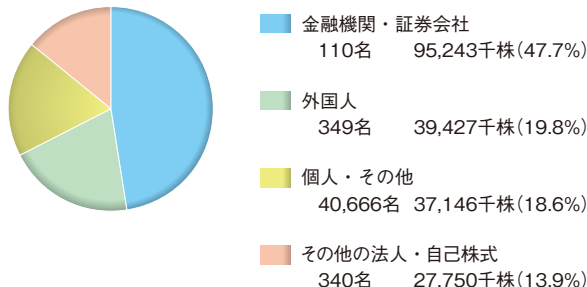
(単位：百万円)

| 区 分 | 2014年度上半期 | 2015年度上半期 |
|----------------------|-----------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 13,392 | 1,479 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △142 | △1,417 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △809 | △11,747 |
| 現金および現金同等物に係る換算差額 | 2,065 | 617 |
| 現金および現金同等物の純増減額(△減少) | 14,506 | △11,068 |
| 現金および現金同等物の期首残高 | 68,997 | 97,574 |
| 現金および現金同等物の当期末残高 | 83,503 | 86,506 |

株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数……………440,000,000株
 発行済株式の総数……………199,566,770株
 株主数……………41,465名

●所有者別株式数分布状況



会社の概要

商 号：株式会社アドバンテスト
 ADVANTEST CORPORATION

本 店：東京都練馬区旭町1丁目32番1号

本社事務所：〒100-0005
 東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
 新丸の内センタービルディング
 TEL. 03-3214-7500

設 立：1954年12月2日

従 業 員：4,556名(連結)
 (2015年9月30日現在) ※上記従業員には、派遣社員等を含んでおりません。

上 場：東京証券取引所第1部(コード: 6857)
 ニューヨーク証券取引所(Ticker Symbol: ATE)

大株主 (2015年9月30日現在)

| 株 主 名 | 持株数 | 持株比率 |
|---|--------|-------|
| | 千株 | % |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 20,375 | 11.67 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口 | | |
| 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 20,143 | 11.54 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 14,169 | 8.12 |
| BNPパリバ証券株式会社 | 5,370 | 3.08 |
| BNYML-NON TREATY ACCOUNT | 5,268 | 3.02 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口) | 4,762 | 2.73 |
| ドイツ証券株式会社 | 3,704 | 2.12 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 3,502 | 2.01 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9) | 3,344 | 1.92 |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW | 2,097 | 1.20 |

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(24,994千株)を控除して計算しています。
 2. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 富士通口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数20,143千株は、富士通株式会社所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については富士通株式会社の指図により行使されることとなっております。

当社ウェブサイト：<http://www.advantest.com>

最新のニュースやIR情報などを掲載しておりますのでぜひご利用ください。



アドバンテスト

検索

株主メモ

| | | |
|---------|--|-----------------------------|
| 事業年度 | 毎年4月1日～翌年3月31日 | |
| 定時株主総会 | 毎年6月 | |
| 基準日 | 定時株主総会 | 毎年3月31日 |
| | 期末配当金 | 毎年3月31日 |
| | 中間配当金 | 毎年9月30日 |
| 単元株式数 | 100株 | |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 | |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 | 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 |
| | TEL. 0120-232-711 (通話料無料) | |
| 公告の方法 | 電子公告により行う | |
| | 公告掲載 URL http://www.advantest.com/jp/investors/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) | |

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

| | | |
|-------------|-----------------------------|---------------------------|
| 特別口座の口座管理機関 | 東京証券代行株式会社 | |
| 同連絡先 | 東京証券代行株式会社 事務センター | 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 |
| | TEL. 0120-49-7009 (フリーダイヤル) | |